

● 「日本遺産(Japan Heritage)」事業の見直しについて(中間とりまとめ)(概要)

1. 「日本遺産」事業見直しの背景

(1) 総括評価について

○認定地域は6年間の「地域活性化計画」期間終了後の翌年には全期間を通じての総括評価を受けることになっていくところ、総括評価の仕組みについて検討。

(2) 今後の方策について

○認定件数は、2020年までに100件程度行うこととしていたところ、104件を認定。認定地域の取組みに温度差があるなどの課題が見受けられることから、今後の方策について検討。

2. 「日本遺産」事業見直しの方向性

○「日本遺産」全体の底上げを図り、ブランドを維持・強化していくため、「日本遺産」事業について、以下の方向性で見直す。

- ・地域の不断の努力を促すメカニズムを構築。
- ・地域の磨き上げを促進するための支援を充実。

3. 「日本遺産」事業の新たなスキーム

(1) 総括評価の仕組み

○総括評価は、「計画目標の達成に対する評価」及び「取組内容に対する評価」(別添)により構成し、それぞれについて、評価(可または不可)を決定。

○認定の更新は、総括評価の評価結果、新たな「地域活性化計画」(3年間)についての審査結果を踏まえて、決定。

(2) 先進モデルの構築

○認定地域のうち、インバウンド需要を取り込む意欲・ポテンシャルの高い地域を「重点支援地域」として選定し、重点的に支援することにより、先進モデルを構築。

(3) 取消し制度の導入

○①「計画目標の達成に対する評価」及び「取組内容に対する評価」において、いずれの評価結果も「不可」とされた認定地域、②新たな「地域活性化計画」についての審査結果が「C(認定基準を満たしていない)」とされた認定地域、について、認定を取り消す。

(4) 「候補地域」の新設

○「候補地域」を「認定」し、「地域活性化準備計画」(3年間)に基づき磨き上げを支援することにより、「日本遺産」を活用した取組みの底上げを図る。

○認定件数は、当面の間、100件程度とするこれまでの認定方針を堅持することとし、これを踏まえつつ、「重点支援地域」及び「認定地域」の入れ替えを行っていく。

(5) 地方自治体への財政支援の見直し

○「重点支援地域」、「認定地域」及び「候補地域」の各段階に応じ、支援の内容を充実するとともに、メリハリのある支援を講じることについて、引き続き検討を進める。

(6) その他

○「日本遺産」の取組みと連携し、地域の磨き上げを促進するため、「重点支援地域」、「認定地域」及び「候補地域」において文化観光推進法の活用を促進するための方策について、引き続き検討を進める。

○地域の自立・自走化に向けた環境を整備し、「日本遺産」を活かした持続可能な地域づくりを進めるため、民間事業者等との連携・協力を促進するための方策について、引き続き検討を進める。

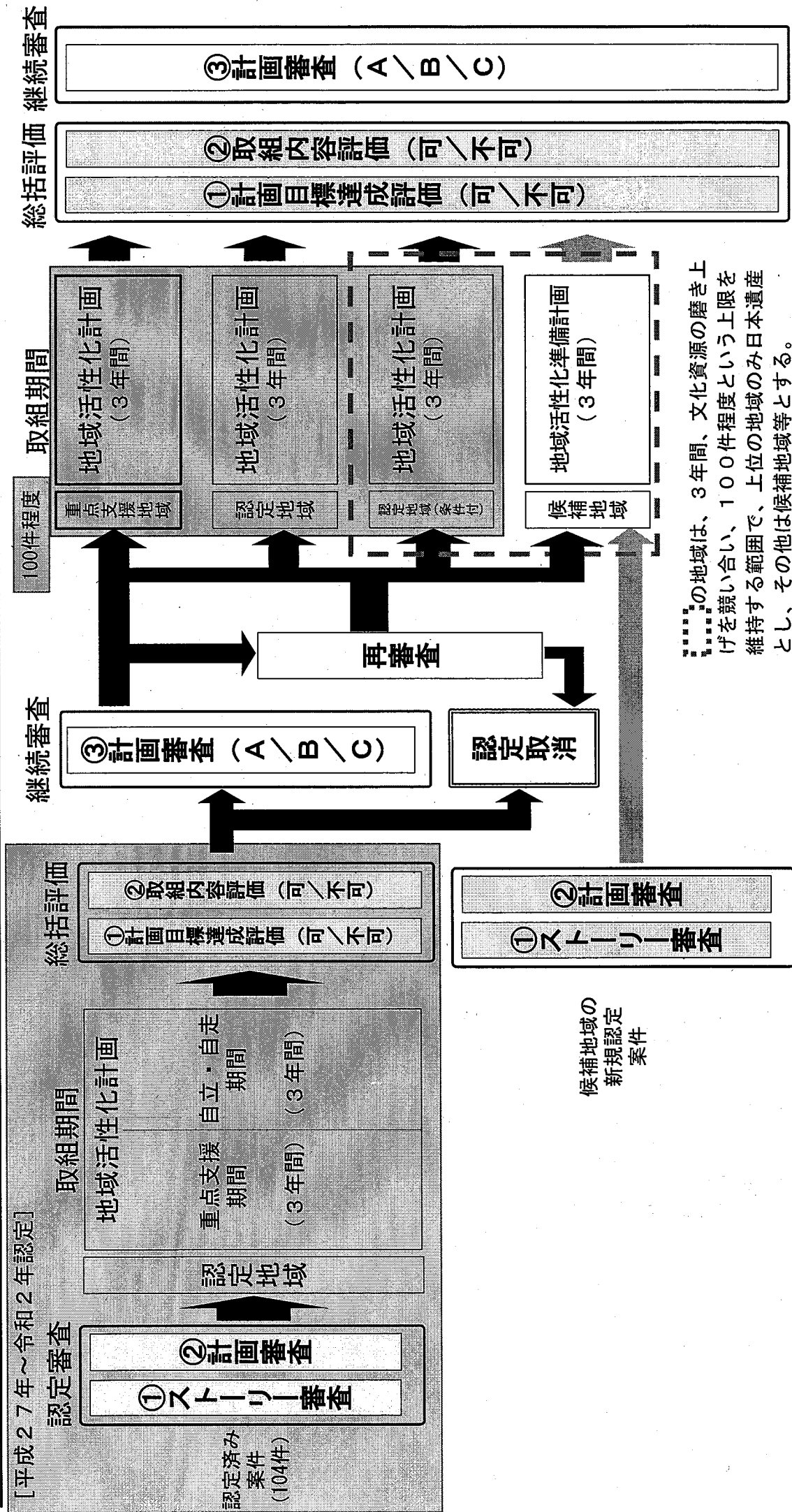
○格付け、順位付け等の仕組みについて、「日本遺産」全体の底上げやブランドの強化が一定程度進んだ段階で、検討を行う。

平成27年度認定地域 総括評価・継続審査結果(2022年1月14日公表)

番号	県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリー
3	富山県	高岡市	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 -人、技、心-
5	福井県	◎福井県 (小浜市、若狭町)	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ~御食国若狭と鯖街道~
11	奈良県	◎明日香村、橿原市、高取町	日本国創成のとき-飛鳥を翔(かけ)た女性たち-
17	長崎県	◎長崎県 (杵岐市、対馬市、五島市、新上五島町)	国境の島 杵岐・対馬・五島 ~古代からの架け橋~
1	茨城県・栃木県・岡山県・大分県	◎水戸市(茨城県)、足利市(栃木県)、備前市(岡山県)、日田市(大分県)	近世日本の教育遺産群 -学ぶ心・礼節の本源-
2	群馬県	◎群馬県 (桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)	かかあ天下-ぐんまの絹物語-
4	石川県	◎石川県 (七尾市、輪島市、志賀町、穴水町、能登町)	灯り舞う半島 能登 ~熱狂のキリコ祭り~
7	三重県	明和町	祈る皇女齋王のみやこ 齋宮
8	滋賀県	◎滋賀県 (大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市、草津市、守山市、野洲市)	琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産
9	京都府	◎京都府 (宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)	日本茶800年の歴史散歩
10	兵庫県	丹波篠山市	丹波篠山 デカシンヨ節 -民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶-
14	広島県	尾道市	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
15	徳島県、高知県、愛媛県、香川県	徳島県、高知県、◎愛媛県、香川県 (各県内57市町村)	「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~
18	熊本県	◎人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	相良700年が生んだ保守と進取の文化 ~日本でもっとも豊かな隠れ里- 人吉球磨 ~
6	岐阜県	岐阜市	「信長公のおもてなし」が急づく戦国城下町・岐阜
12	鳥取県	三朝町	六根清浄と六感治癒の地 ~日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉~
13	島根県	津和野町	津和野今昔~百景図を歩く~
16	福岡県、佐賀県	◎福岡県 (筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、宇美町)、佐賀県 (基山町)	古代日本の「西の都」~東アジアとの交流拠点~

※条件:
 ・地域活性化計画が3年間着実に実行されるよう、候補地域と3年間磨き上げを競い合うこと。
 ・この実効性を担保するため、3年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域が100件程度を超える場合は、令和3年度に認定地域(条件付)又は候補地域となった地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とすること。

「日本遺産(Japan Heritage)」事業について





令和3年度の総括評価・継続審査を踏まえた改善のポイントについて



○中核として取り組むべき事業について

課題

- 日本遺産事業として取り組むべき事業の範囲が不明確
 - ・日本遺産ならではの効果を可視化すべきではないか。
 - ・総花的な計画でなくとも良いのではないか。

改善点

- 日本遺産は、日本の各地域に積み重ねられた多様かつ特徴的である歴史的・文化的な蓄積をストーリーとして具現化した活用
- 中核として取り組むべき事業は、地域内外の人々がストーリーを体験できるようにする事業

○設定すべき目標・指標について

課題

- 日本遺産事業を通じて実現したい内容が不明確
(現在の設定目標)
 - ・日本遺産を活用した集客・活性化
 - ・日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
 - ・日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立

改善点

- ・地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること
- ・地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること
- ・日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること
- ・日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること
- ・地域への経済効果も含め広く波及効果を生じること

○日本遺産の取組の自立・自走の考え方について

課題

- 自立・自走の在り方が不明確
 - ・継続性の確保ができていない

改善点

- 短期的に目指すべき自立・自走は、ストーリーを体験できる事業を継続的に実施する仕組みの構築。
- 中長期的には、ストーリーを体験できる事業を、民間事業者が主体となって継続的に生み出す仕組みの構築

○人材育成について

- 地域内で中長期的に日本遺産事業に携わる人材が必要
- 外部の専門家によるコーチングや大学との連携による知見・ノウハウの提供、中長期的な人材育成の観点からの学校教育との連携等の充実が重要